



# 有限会社原山高橋畜産 SDGs宣言

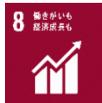
当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、  
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 奥田 和明

## SDGsの達成に向けた取り組み

### 安心・安全な『食』の提供によりすべての『ひと』を健康に

- 当社は創業以来約80年間、さいたま市を拠点として、地域の学校や保育園、病院等のお客さまに、毎日『安心・安全な精肉』を提供しています。
  - 多くのお客さまが『子ども』や『高齢者』であることから、徹底した品質管理はもちろん、加工後はどんな小さな異物も残さないよう、全品手検査(※)を実施しています。
  - 今後も、衛生管理体制強化の努力を続け、高品質で鮮度の高いすべての『ひと』に喜ばれる『食』を提供していきます。また、従業員の健康が第一であることから、従業員の健康管理を応援していくほか、工場での労働災害防止や配達時の交通安全対策も徹底していきます。
- (※) 全品手検査とは、食品中に異物が残らないよう、作業員が衛生面を十分配慮して、触手にて全ての食肉の検査を行うことです。一口サイズに加工した食肉の検査では、『赤外線』等の装置では完全には異物を探知できないことがありとされています。



**【指標】 有給休暇取得率の向上 2023年 平均50% ⇒ 2030年 平均80% (+30%)**

### すべての『ひと』が『やりがい』を持って働ける職場を目指す

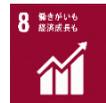
- 当社は、シニア世代の雇用促進や、学歴や性別等にかかわらずの採用を行っていますが、今後は、外国人実習生や障がいを持つ方も積極的に採用し、すべての『ひと』が『やりがい』を持って働ける職場を目指します。
  - そのため、職場環境の整備を継続することに加え、誰もが活躍できる制度(介護・育児休暇、短時間・変形労働時間制、他)の導入を進め、地域の女性や高齢者を積極的に採用していくほか、さいたま市就労サポート事業(※)等に協力することで、障がいを持つ方達も安心して活躍できる職場を目指します。
- (※) さいたま市就労サポート事業とは、さいたま市と埼玉労働局が協働で実施している事業のことで、障がいを持つ方が地域で安心して自立した生活を営むことができるよう、関係機関と連携しながら就労支援等を行っています。



**【指標】 女性、高齢者、障がい者の採用数 ⇒ 2030年 累計 5名**

### 創業以来お世話になっている地域への貢献を続けていく

- 今後も、さいたま市内を中心とした学校や保育園、病院等のお客さまに、毎日『安心・安全な精肉』を提供することを通じて地域貢献を行ってまいります。
- 学校給食に食肉等を提供していることから、地域の子どもの工場見学や職場体験学習(さいたま市「未来(みら)くるワーク体験」)等の積極的な受け入れを続けていきます。
- また、『精肉』を提供している企業として、地元企業や飲食店との協業(商品開発、地産地消、イベント参加、他)にも力を入れていきます。



**【指標】 地域の学校、保育園、病院等の納入先 110先 ⇒ 2030年 150先 (+40先)**  
**地域の子どもの職場体験受け入れ 1回/年 ⇒ 2030年 累計5名**

### 子どもたちへ環境や地域を残していく責任を果たす

- 子どもたちへ、より良い『環境』や『地域』を残していく責任として、環境やエネルギー使用に配慮した事業を行ってきます。そのため、当社として取り組むことが可能な『環境にやさしい取組み』の検討を続け、実施できるものから実施していきます。(例: 資源・残渣回収業者との提携、汚泥の堆肥化、使用済み油のバイオマス燃料化、グリーンマーク製品の積極的な利用、廃棄ロス削減、他)



**【指標】 環境にやさしい取組みの検討と実施数 ⇒ 2030年 検討 累計10件/実施 累計3件**